



Cisco Unified IP Phone 6901/6911 ユーザガイド for Cisco Unified Communications Manager 9.0 (SCCP および SIP)

初版：2012年1月1日

最終更新：2012年6月4日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 装置と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに装置を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、<http://www.cisco.com/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



目次

Cisco Unified IP Phone の機能 1

Cisco Unified IP Phone 6901 1

電話機の接続部 1

ボタンとハードウェア 3

フックスイッチ ボタン 4

Cisco Unified IP Phone 6911 4

電話機の接続部 5

ボタンとハードウェア 6

紙ラベル 8

電話に関する全般情報 8

フットスタンド 8

電話機の表示角度 9

表示角度を上げる 9

表示角度を下げる 10

メッセージ 13

ボイスメールの個人設定 13

ボイス メッセージの確認 13

ボイス メッセージの聞き取り 14

コール機能 15

エージェント グリーティング 16

自動応答 16

スピーカフォンでの自動応答 16

自動割り込み 16

コールの転送 16

ユーザ オプション Web ページを使用したコールの転送 17

機能ボタンを使用したコールの転送 17

コール ピックアップ 18

| | |
|---|----|
| ピックアップを使用したコールの応答 | 18 |
| グループピックアップを使用したコールの応答 | 19 |
| コール待機 | 19 |
| コール待機への応答 | 19 |
| コード | 19 |
| クライアント識別コードを使用したコールの発信 | 20 |
| 強制承認コードを使用したコールの発信 | 20 |
| 会議 | 20 |
| フックフラッシュを使用した会議の設定 | 20 |
| フックフラッシュを使用した会議参加者の切断 | 21 |
| 会議の設定 | 21 |
| フックフラッシュ | 22 |
| 保留 | 22 |
| コールの保留 | 22 |
| ミーティング会議 | 22 |
| ミーティング会議の開催 | 23 |
| ミーティング会議への参加 | 23 |
| モニタリングと録音 | 23 |
| MLPP (Multilevel Precedence and Preemption) | 23 |
| ミュート | 24 |
| 電話機のミュート | 24 |
| プラスダイヤル | 25 |
| 国際電話番号のダイヤル | 25 |
| リダイヤル | 25 |
| 番号のリダイヤル | 25 |
| 共有回線 | 25 |
| スピードダイヤル | 26 |
| スピードダイヤルを使用したコールの発信 | 26 |
| 転送 | 27 |
| フックフラッシュを使用したコールの転送 | 27 |
| 転送ボタンを使用したコールの転送 | 27 |
| 転送完了前のコールの切り替え | 28 |

| | |
|---------------------------------------|----|
| WebDialer | 28 |
| WebDialer を使用した Cisco ディレクトリの連絡先へのコール | 28 |
| WebDialer の設定の管理 | 29 |
| WebDialer のログアウト | 29 |
| ユーザ オプション | 31 |
| ユーザ オプション Web ページのログインとログアウト | 31 |
| デバイスの設定 | 32 |
| ユーザ オプション Web ページからのデバイスの選択 | 32 |
| 回線の設定 | 33 |
| 回線ごとのコール転送の設定 | 33 |
| 回線ごとのボイス メッセージ インジケータ設定の変更 | 33 |
| 回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータ設定の変更 | 34 |
| スピードダイヤル ボタンとコード | 34 |
| スピードダイヤル ボタンの設定 | 34 |
| ユーザ設定 | 35 |
| ブラウザのパスワードの変更 | 35 |
| PIN の変更 | 35 |
| ユーザ オプションの言語の変更 | 36 |
| ユーザ オプション Web ページ プラグイン | 36 |
| プラグインへのアクセス | 36 |
| よくある質問、トラブルシューティング | 37 |
| よくある質問 | 37 |
| トラブルシューティングのヒント | 38 |
| 会議 | 38 |
| 会議ボタンが反応しない | 38 |
| ミーティング会議のビジー トーン | 38 |
| ユーザ オプション | 39 |
| ユーザ オプション Web ページにアクセスできない | 39 |
| 製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および追加情報 | 41 |
| 安全性とパフォーマンスの情報 | 41 |
| 停電 | 41 |
| シスコ製品のセキュリティ | 41 |

アクセシビリティ機能 42

保証 43

シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定 43



第 1 章

Cisco Unified IP Phone の機能

この章では Cisco Unified IP Phone 6901/6911 の機能について説明します。

- [Cisco Unified IP Phone 6901, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified IP Phone 6911, 4 ページ](#)
- [電話に関する全般情報, 8 ページ](#)

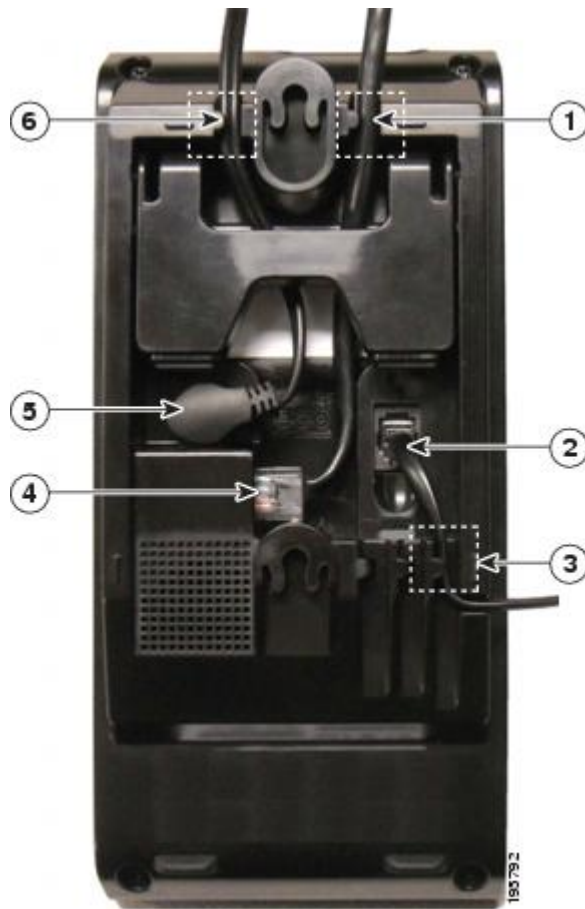
Cisco Unified IP Phone 6901

Cisco Unified IP Phone 6901 には次の機能があります。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア
- フックスイッチ ボタン

電話機の接続部



電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。



| | | | |
|---|----------------------|---|---|
| 1 | イーサネット ケーブルの スロット | 4 | ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応) |
| 2 | ハンドセットの接続 | 5 | DC アダプタ ポート (DC48V) |
| 3 | ハンドセット ケーブルのス ロット | 6 | DC アダプタ ケーブルのス ロット |

ボタンとハードウェア



| | | |
|---|---|-----------------------------|
| 1 | フックスイッチ | 電話機の機能をアクティブにします（フックフラッシュ）。 |
| 2 | 保留ボタン  | 接続されているコールを保留にします。 |
| 3 | リダイヤルボタン  | 最後にダイヤルした番号をダイヤルします。 |

| | | |
|---|---|--|
| 4 | 回線ボタン  | <p>2 番目の着信コールをピックアップできます。回線ボタンの LED は、コールの状態を示します。</p> <p>鳴っているコールに応答し、同じ回線上で2つのコールを切り替えることができます。電話機がアイドル状態のときに、回線ボタンを使用して新しいコールを発信することもできます。回線ボタンに関連付けられている LED が点灯して、回線の状態を示します。</p> <p>カラー LED は、回線の状態を次のように示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色に点灯：アクティブなコール • 緑色に点滅：保留中のコール • オレンジ色に点滅：着信コール • オレンジ色に点灯：すべてのコールの転送がアクティブ • 赤色に点灯：リモート回線使用中（共有回線） • 赤色に点滅：リモート回線保留中 |
| 5 | 音量ボタン  | ハンドセット（オフフック）と呼出音の音量（オンフック）を制御します。 |
| 6 | キーパッド | 電話番号をダイヤルできます。 |
| 7 | ライトストリップ付きのハンドセット | ランプは、呼び出し中のコール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。 |

フックスイッチ ボタン

電話機の受け台には、フックスイッチボタンがあります。フックスイッチボタンを押してすぐに放すことで、電話機の機能をアクティブにできます（フックフラッシュ）。

Cisco Unified IP Phone 6911

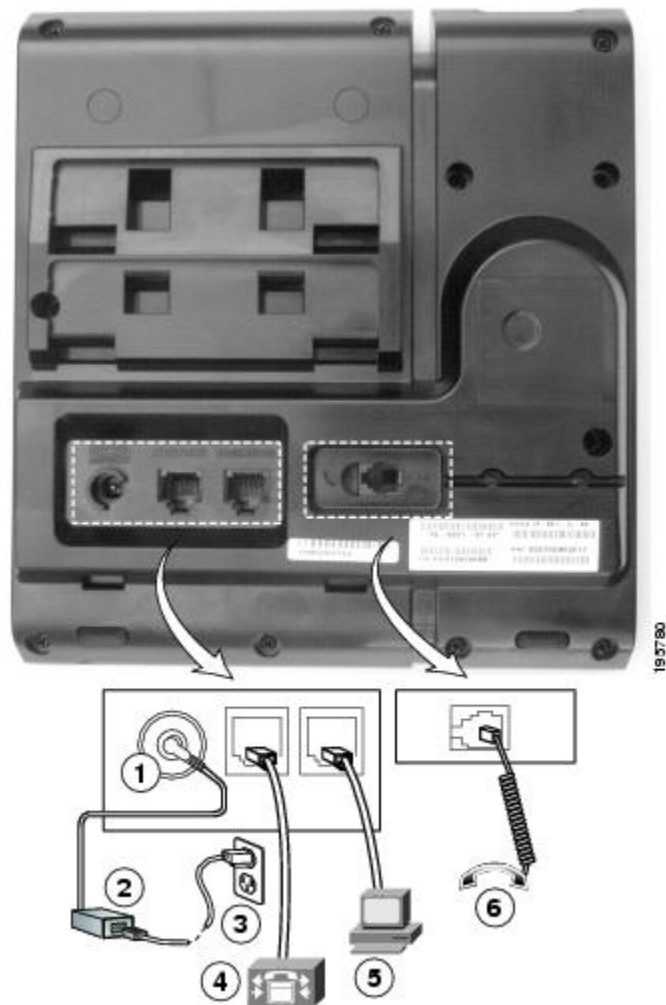
Cisco Unified IP Phone 6911 には次の機能があります。

- 電話機の接続部
- ボタンとハードウェア

- 紙ラベル

電話機の接続部



電話機を使用するには、企業の IP テレフォニー ネットワークへ接続する必要があります。











| | | | |
|---|---------------------|---|--|
| 1 | DC アダプタ ポート (DC48V) | 4 | ネットワーク ポート (10/100 SW) の接続 (IEEE 802.3af 電源対応) |
| 2 | AC-DC 電源装置 (オプション) | 5 | アクセス ポート (10/100 PC) 接続 |
| 3 | AC 電源コンセント (オプション) | 6 | ハンドセットの接続 |

ボタンとハードウェア



| | | |
|---|--|--|
| 1 | ライトストリップ付きのハンドセット | ランプは、呼び出し中のコール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）を示します。 |
| 2 | 紙ラベル | 名前や連絡先の番号を記入する紙ラベルです。 |
| 3 | 転送ボタン  | コールを転送します。 |
| 4 | 会議ボタン  | 会議コールを開始します。 |

| | | |
|----|--|--|
| 5 | 保留ボタン  | アクティブなコールを保留します。 |
| 6 | 回線ボタン  | 2 番目の着信コールをピックアップしたり、保留中のコールを復帰できます。LED はコールのステータスを示します。 |
| 7 | スピーカフォン ボタン  | デフォルトのオーディオパスとしてスピーカフォンを選択し、新しいコールの開始、着信コールのピックアップ、コールの終了を行います。コール中、このボタンは緑色で点灯します。このスピーカフォンオーディオパスは、（ハンドセットを取り上げるなどして）新しいオーディオパスを選択するまで変更されません。 |
| 8 | キーパッド | 電話番号をダイヤルできます。 |
| 9 | ミュート ボタン  | マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、このボタンは赤色で点灯します。 |
| 10 | 音量ボタン  | ハンドセットとスピーカフォンの音量（オフフック）、および呼出音の音量（オンフック）を制御します。 |
| 11 | メッセージ ボタン  | ボイス メッセージ システムに自動ダイヤルします。 |
| 12 | リダイヤル ボタン  | 最後にダイヤルした番号をダイヤルします。 |

| | | |
|----|--|---|
| 13 | 機能ボタン  | <p>電話機の設定に応じて、機能ボタンからスピードダイヤル、すべてのコールの転送、ピックアップ、グループピックアップ、ミーティングの各機能にアクセスできます。ユーザは最大9つの項目を機能ボタンに設定できます。これらの機能にアクセスするには、機能ボタンを押してから各機能に関連付けられている番号を押します。機能ボタンを押してから5秒以内に番号を押す必要があります。使用できる番号は、1～9の1桁の番号です。</p> <p>次の機能には、オフフックまたはオンフックでアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのコールの転送：コールを自動的に転送できます。 • ピックアップ：第三者の電話機のコールをピックアップできます。 • グループピックアップ：グループ内のコールをピックアップできます。 • ミートミー：会議を設定できます。 |
| 14 | ハンドセット | 電話機のハンドセットです。 |

紙ラベル

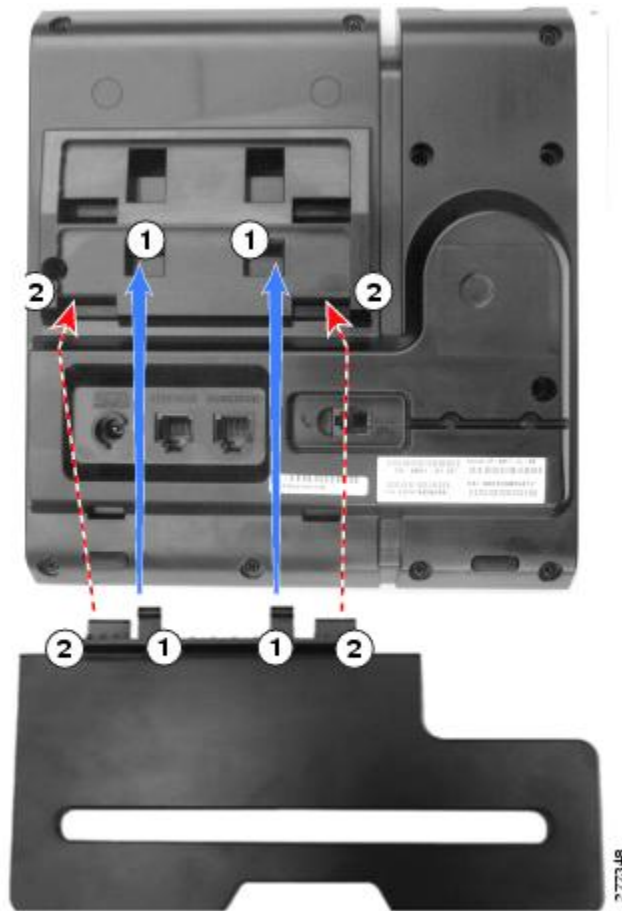
Cisco Unified IP Phone 6911 は液晶ディスプレイを備えていません。シスコ製品には紙ラベルが付属しており、それに名前や連絡先の番号を記入できます。

電話に関する全般情報

この項では、このガイドのすべての IP Phone モデルで共通する内容について説明します。

フットスタンド

電話機をテーブルまたは机の上に置いている場合は、フットスタンドを電話機の背面に取り付けて、好みの高さに表示角度を設定できます。



| | | | |
|---|----------------------|---|----------------------------------|
| 1 | コネクタを下側のスロットに差し込みます。 | 2 | コネクタが上のスロットにはまるまでフットスタンドを持ち上げます。 |
|---|----------------------|---|----------------------------------|

電話機の表示角度

表示角度を上げる

手順

表示角度を上げるには、次の図のように、下側のスロットにフットスタンドを取り付けます。



表示角度を下げる

手順

表示角度を下げるには、次の図のように、上側のスロットにフットスタンドを取り付けます。





第 2 章


メッセージ

ボイス メッセージは、ボイスメール システムに保存されます。電話機で使用するボイスメール システムは会社が決めます。

- [ボイスメールの個人設定, 13 ページ](#)
- [ボイス メッセージの確認, 13 ページ](#)
- [ボイス メッセージの聞き取り, 14 ページ](#)

ボイスメールの個人設定

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|------------------|---|
| ステップ 1 | ボイスメールの個人設定を行うには | <ul style="list-style-type: none">• Cisco Unified IP Phone 6901 の場合 キーパッドでシステム管理者から取得するボイスメール アクセス番号にダイヤルし、音声プロンプトに従います。• Cisco Unified IP Phone 6911 の場合 メッセージボタン  を押し、音声プロンプトに従います。 |

ボイス メッセージの確認

次のいずれかの方法で、ボイス メッセージが届いていることを確認します。


- 赤色に点灯しているハンドセットのランプを確認します。
ユーザ オプション Web ページを使用して、ビジュアル メッセージ受信ランプを設定できます。
- ハンドセットを持ち上げ、スタッター音を聞きます。
ユーザ オプション Web ページを使用して、オーディオ メッセージ受信ランプを設定できます。

関連トピック

[ユーザ オプション](#), (31 ページ)

ボイスメッセージの聞き取り

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------|--|
| ステップ 1 | ボイスメッセージを聞くには | <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone 6901 の場合 キーパッドでシステム管理者から取得するボイスメールアクセス番号にダイヤルし、音声プロンプトに従ってメッセージを聞きます。 • Cisco Unified IP Phone 6911 の場合 メッセージ ボタン  を押し、音声プロンプトに従ってメッセージを聞きます。 |



第 3 章

コール機能

- エージェント グリーティング, 16 ページ
- 自動応答, 16 ページ
- 自動割り込み, 16 ページ
- コールの転送, 16 ページ
- コール ピックアップ, 18 ページ
- コール待機, 19 ページ
- コード, 19 ページ
- 会議, 20 ページ
- フックフラッシュ, 22 ページ
- 保留, 22 ページ
- ミートミー会議, 22 ページ
- モニタリングと録音, 23 ページ
- MLPP (Multilevel Precedence and Preemption) , 23 ページ
- ミュート, 24 ページ
- プラス ダイヤル, 25 ページ
- リダイヤル, 25 ページ
- 共有回線, 25 ページ
- スピードダイヤル, 26 ページ
- 転送, 27 ページ
- WebDialer, 28 ページ

エージェントグリーティング

エージェントグリーティングを使用すると、ユーザは、事前に録音するあいさつメッセージを作成および更新できます。あいさつメッセージはコール（顧客からかかってきたコールなど）の開始時に再生され、その後でユーザは発信者と会話を始めます。ユーザは、必要に応じていくつかのあいさつメッセージを事前に録音できます。

顧客からコールがあったときには、自分と顧客の両者に対して、事前に録音されたあいさつメッセージが再生されます。ユーザはあいさつメッセージが終わるまでミュートのままにすることも、あいさつメッセージ再生中にコールに応答することもできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

自動応答

（Cisco Unified IP Phone 6911 のみ）

自動応答では、呼出音が1回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに応答します。

システム管理者は、スピーカフォンで動作するように自動応答を設定します。

スピーカフォンでの自動応答

スピーカフォンで自動応答を行うには、ハンドセットを受け台にセットした状態にします。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

自動割り込み

自動割り込みが設定されている場合、共有回線のコールに自動的に割り込みできます。

たとえば共有回線で、オフフックにしたときに別の電話機ですでにコール中の場合、そのコールに自動的に割り込みできます。

コールの転送

コールの転送を使用すると、電話機にかかってきたコールを別の番号に自動的に転送できます。

システム管理者が電話機に設定できるコールの転送機能には、次の2種類があります。

- すべてのコールの転送は、電話機で直接設定できます。すべてのコールの転送をリモートで使用するには、ユーザ オプション Web ページを開きます。

無条件のコール転送（すべてのコールの転送）：受信したすべてのコールに適用されます。

- 条件付きのコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。

電話機からコールを転送する場合は、転送先の電話番号を、実際にダイヤルするとおりに入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードを入力します。

システム管理者は、次のようなその他のコール転送オプションを設定できます。

- 転送先の電話番号から自分の電話機へコールが発信された場合に、コールを転送するのではなく、呼出音を鳴らす。
- 転送ループが生じたり、転送チェーンで最大リンク数を超えないようにする。

関連トピック

[コールの転送の設定](#)

ユーザ オプション Web ページを使用したコールの転送

(Cisco Unified IP Phone 6901 のみ)


手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [デバイス] > [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 3 コールの転送先の電話番号を入力します。
 - ステップ 4 [保存] をクリックします。
-

機能ボタンを使用したコールの転送

(Cisco Unified IP Phone 6911 のみ)

手順

-
- ステップ 1 機能ボタン  を押してから、すべてのコールの転送機能が割り当てられている番号を押します。
 - ステップ 2 ダイヤル音が聞こえたら、コールの転送先の電話番号を入力します。ハンドセットのランプがオレンジ色に点灯し、転送が設定されたことを示します。
 - ステップ 3 コールの転送をキャンセルするには、ステップ 1 を繰り返します。

ハンドセットを持ち上げると、コールの転送をキャンセルするまでスタッター音が聞こえます。すべてのコールの転送をキャンセルすると、オレンジ色に点灯していたランプが消灯します。

コール ピックアップ

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

コール ピックアップでは、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることによって、そのコールに応答できます。同僚とコール処理タスクを共有する場合、コール ピックアップを使用することができます。

コールをピックアップするには、次の2つの方法があります。


- **ピックアップ**：自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。
ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコールからピックアップします。
- **グループ ピックアップ**：次の方法で、自分のコール ピックアップ グループ以外の電話機でコールに応答できます。
 - システム管理者から取得したグループ ピックアップ番号を使用します。
 - 相手の直通番号が現在のユーザの関連グループのいずれかに存在する場合、呼出音が鳴っている電話機の番号をダイヤルします。

システム管理者はコールピックアップグループを設定し、コール処理のニーズおよび作業環境に対応したコール ピックアップ ボタンを設定します。

ピックアップを使用したコールの応答

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。



手順

- ステップ 1** 電話機に自動ピックアップが設定されている場合、自分のピックアップグループ内の鳴っているコールを自分の電話機に転送するには、機能ボタン  を押してから、コール ピックアップが割り当てられている番号を押します。これで、コールが接続されます。
- ステップ 2** 自動ピックアップが設定されていない場合、コールを接続するには、回線ボタンを押すか、ハンドセットを持ち上げます。

グループピックアップを使用したコールの応答


この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

- ステップ1** 電話機に自動グループピックアップが設定されている場合、自分のピックアップグループ外の電話機へのコールに応答するには、機能ボタン  を押してから、コールピックアップが割り当てられている番号を押します。
- ステップ2** グループピックアップ番号を入力して、コールに接続します。
- ステップ3** 自動グループピックアップが設定されていない場合、コールに接続するには、回線ボタン  を押すか、ハンドセットを持ち上げます。

コール待機

コール待機機能は、あるコールで会話しているときに新しいコールが到着したことを次の方法で通知します。

- コール待機トーン（ビープ音1回）
- オレンジ色に点滅する回線ボタン 

コール待機への応答

呼び出し中のコールに応答するには、オレンジ色に点滅している回線ボタンを押します。電話機によって元のコールが自動的に保留され、呼び出し中のコールが接続されます。

コード

コードを使用すると、課金またはトラッキングコードを使用してコールを発信できます。電話機では、管理者から取得する次の2種類のコードがサポートされています。

- クライアント識別コード（CMC）では、コードを入力してコールと特定のクライアントとの関連付けを指定する必要があります。管理者は、コールアカウンティングおよび課金のために、クライアント識別コードを顧客、学生、またはその他の集団に割り当てられます。
- 強制承認コード（FAC）を使用すれば、コールアクセスとコールアカウンティングを管理できます。管理者は、コールが接続される前に、ユーザが有効な承認コードを入力するように要求できます。

クライアント識別コードを使用したコールの発信

手順

-
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 トーンが鳴ったら、CMC を入力します。
-

強制承認コードを使用したコールの発信


手順

-
- ステップ1 電話番号をダイヤルします。
 - ステップ2 トーンが鳴ったら、FAC を入力します。
-

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。あるコールで会話をしているとき、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、それらの通話相手をコールに追加します。個々の参加者を会議から削除できます（電話機でこの機能がサポートされている場合）。

会議は次の機能を使用して設定できます。

- Cisco Unified IP Phone 6901 のフックフラッシュ機能
- Cisco Unified IP Phone 6911 の会議ボタン 

すべての参加者が電話を切ると、会議は終了します。

フックフラッシュを使用した会議の設定

この手順は Cisco Unified IP Phone 6901 にのみ適用されます。

手順

-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 フックスイッチを押して離し、ダイヤル トーンを確認します。
 - ステップ3 任意の電話番号をダイヤルします。
 - ステップ4 相手が応答するのを待つか、コールが鳴っている間にステップ5に進みます。
 - ステップ5 もう一度フックスイッチを押して放します。
会議が開始します。

(注) 1つの会議に参加できる人数は最大3名です。会議から参加者を切断するには、フックフラッシュ機能を使用します。

フックフラッシュを使用した会議参加者の切断

この手順は Cisco Unified IP Phone 6901 にのみ適用されます。


手順

-
- ステップ1 自分が会議に参加していることを確認します。
 - ステップ2 フックスイッチを押して放します。
最後に参加した参加者が、会議から切断されます。
- (注) 会議から参加者を切断できるのは、その会議のホストだけです。
-

会議の設定

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 会議ボタン  を押します。
 - ステップ3 会議に追加する参加者の電話番号を入力します。
 - ステップ4 参加者が応答するのを待つか、コールが成っている間にステップ5に進みます。
 - ステップ5 もう一度会議ボタンを押します。

会議が開始します。

ステップ 6 (任意) 参加者をさらに追加するには、この手順を繰り返します。

フックフラッシュ

この手順は Cisco Unified IP Phone 6901 にのみ適用されます。

フックフラッシュでは、次の一覧の機能を使用できます。フックフラッシュを使用するには、電話機の受け台にあるフックスイッチ ボタンをすばやく押して放します。

フックフラッシュを使用すると、次の機能を使用できます。


- コールに応答する
- 2つのコール間で転送する（一方のコールが着信の場合のみ）
- 会議コールを発信する
- 会議の参加者を削除する

保留

保留を使用すると、アクティブなコールを保留状態にできます。

コールの保留

手順

- ステップ 1** コールを保留にするには、保留ボタン  を押します。回線ボタンが緑色に点滅します。保留状態にある相手には、あらかじめ設定された音楽が聞こえます。
- ステップ 2** コールを復帰させるには、緑色に点滅している回線ボタンを押すか、スピーカ ボタン（Cisco Unified IP Phone 6911 のみ）を押します。または、ハンドセットが受け台にある場合は、オフフックにします。

ミーティング

ミーティングを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号にコールしてミーティングを開催したり、ミーティングに参加したりすることができます。


ミーティングは、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー トーンが聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミーティングの開催

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

機能ボタン  を押してから、システム管理者によってあらかじめ設定されたミーティング番号を押します。

これで、会議に接続されます。

ミーティングへの参加

手順

ステップ 1 会議ホストから取得したミーティング電話番号をダイヤルします。

ステップ 2 ビジー トーンが聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。その場合は電話を切り、もう一度発信し直す必要があります。

モニタリングと録音

モニタリングと録音を使用すると、コールをモニタリングおよび録音できます。この機能を有効にするのはシステム管理者です。全コールの自動録音、またはコールごとの録音を設定できます。

コールのモニタリングおよび録音中、オーディオアラートを聞くことができます。デフォルトでは、コールのモニタリングと録音（設定されている場合）を実行しているユーザにオーディオアラートは聞こえません。

MLPP (Multilevel Precedence and Preemption)

この手順は Cisco Unified IP Phone (SCCP) にのみ適用されます。

軍隊や行政機関のオフィスなどの環境では、緊急のコールや重要なコールの発信および受信が必要になることがあります。このような特別なコールの処理が必要な場合は、システム管理者が電話機に MLPP (Multilevel Precedence and Preemption) を追加することができます。

次の用語を覚えておいてください。

- **Precedence** とは、コールに関連付けられた優先度を示します。
- **Preemption** とは、優先度の低い既存のコールを終了させて、電話機に送信された優先度の高いコールを受け付ける処理です。

発信コールについてプライオリティ（優先）レベルを選択する場合は、対応するコールの優先度番号のリストについてシステム管理者に問い合わせてください。

プライオリティ（優先）コールを発信する場合は、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力し、その後に電話番号を入力します。

通常より速い特殊な呼出音または特殊なコール待機音が聞こえる場合は、プライオリティ（優先）コールが着信しています。

優先度が高いコールを受け付ける場合は、通常と同じようにコールに応答します。必要な場合は、アクティブなコールを先に終了します。

コールの最中に継続的にトーンが聞こえる場合は、現在のコールよりも優先する必要があるコールが着信しています。優先度の高いコールを受信するために、ただちに通話を終了してください。

MLPP を使用したコールを発信または受信した場合は、通常のトーンとは異なる、特殊な呼出音およびコール待機音が聞こえます。

無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声案内によってエラーが警告されます。

次の場合には、MLPP を使用したコールの優先度と優先ステータスがそのまま維持されます。

- コールの保留
- コールの転送
- 3 者会議へのコールの追加
- ピックアップを使用したコールの応答

ミュート


この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

ミュートを使用すると、ハンドセットやスピーカフォンのオーディオ入力をブロックできます。コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にはこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

- ステップ1 ミュートボタン  を押し、ミュートをオンにします。
- ステップ2 もう一度ミュート ボタンを押すと、ミュートはオフになります。

プラスダイヤル

プラスダイヤルでは、1秒以上スター (*) キーを押し続けると、電話番号の1桁目として国際電話用のプラス (+) 記号が付加されます。これは、オフフックダイヤルに適用されます。

1秒以上 * キーを押し続けると、トーンが聞こえます。対応するトーンは1秒後に停止します。

国際電話番号のダイヤル

手順


- ステップ1 スター (*) キーを1秒以上押したままにします。
電話番号の1桁目としてプラス (+) 記号が表示されます。
対応するトーンが停止しますが、これは * が + 記号に変わったことを示します。
- ステップ2 国際電話番号をダイヤルします。

リダイヤル

リダイヤルでは、最後にダイヤルした電話番号に発信できます。

番号のリダイヤル

番号をリダイヤルするには、次の手順を実行します。


- Cisco Unified IP Phone 6901 の場合は、オフフックにしてリダイヤル ボタンを押します。
- Cisco Unified IP Phone 6911 の場合は、リダイヤル ボタン  を押します。このボタンを押すと、オフフックまたはオンフックの状態になります。

共有回線

共有回線を使用すると、1つの電話番号を複数の電話機で使用できます。

複数の電話機があり、電話番号は1つで、同僚とコール処理タスクを共有したり、マネージャの代わりにコールを処理したりする場合は、共有回線を使用します。

たとえば、同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタン  がオレンジ色に点滅します。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅します。
- コールに応答した場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に変わります。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に変わります。

ボタンが赤色で、自動割り込みが有効になっている場合は、オフフックにすることでコールに自動的に割り込みできます。自動割り込みが無効になっている場合は、新しいコールを発信できます。
- コールを保留にした場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅します。
 - 同僚の回線ボタンが赤色で点滅します。

回線ボタンが赤色で点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

関連トピック

[ピックアップを使用したコールの応答, \(18 ページ\)](#)

[グループピックアップを使用したコールの応答, \(19 ページ\)](#)

スピードダイヤル

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

スピードダイヤルでは、ボタンを押すか事前に定義したコードを入力するだけでコールを発信できます。電話機でスピードダイヤルを使用する前に、ユーザ オプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

設定に応じて、電話機では次のスピードダイヤル機能が使用できます。

- 機能ボタン: このボタンとコードにスピードダイヤルが割り当てられている場合、すぐに電話番号をダイヤルできます。

スピードダイヤルを使用したコールの発信

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

はじめる前に


電話機でスピードダイヤルボタンを使用する前に、ユーザオプション Web ページでスピードダイヤルを設定する必要があります。

手順

コールを発信するには、スピードダイヤル用の機能ボタンを押します。

転送

転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号へリダイレクトできます。

- 1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。転送方法は、使用している電話機のモデルによって異なります。
 - Cisco Unified IP Phone 6901 でのコールの転送には、フックフラッシュを使用します。
 - Cisco Unified IP Phone 6911 でのコールの転送には、転送ボタン  を使用します。
- 自分がコールを維持することなく、2つのコールを接続できます。

フックフラッシュを使用したコールの転送

この手順は Cisco Unified IP Phone 6901 にのみ適用されます。


手順

-
- ステップ 1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ 2 フックスイッチを押して離し、ダイヤル トーンを確認します。
 - ステップ 3 転送先の電話番号を入力します。
 - ステップ 4 相手が応答するのを待つか、コールが鳴っている間にステップ 5 に進みます。
 - ステップ 5 切断して転送を完了します。
-

転送ボタンを使用したコールの転送

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

-
- ステップ1 自分のコールが（保留でなく）アクティブであることを確認します。
 - ステップ2 転送ボタン  を押します。
 - ステップ3 転送先の電話番号を入力するか、スピードダイヤルボタンを押します。
 - ステップ4 相手が応答するのを待つか、コールが鳴っている間にステップ5に進みます。
 - ステップ5 もう一度転送ボタンを押すか、切断して転送を完了します。
-

転送完了前のコールの切り替え

（Cisco Unified IP Phone 6911 のみ）

転送先に接続した後、コールをその通話相手に転送する前に、回線ボタンを押して2つのコールを切り替えられます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手に個別に打診できます。

WebDialer

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

WebDialer を使用すると、Cisco Unified CM ディレクトリの連絡先からコールを発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer を使用した Cisco ディレクトリの連絡先へのコール

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

-
- ステップ1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ2 [ユーザ オプション]>[ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。
 - ステップ3 ダイヤルする番号を選択します。
 - ステップ4 初めて WebDialer を使用する場合は、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページの設定を確認します。
 - ステップ5 [ダイヤル] を選択します。
これで電話機からコールが発信されます。
 - ステップ6 コールを終了するには、[コールの終了] を選択するか、電話機でコールを切断します。
-

WebDialer の設定の管理

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。


手順

-
- ステップ 1** WebDialer を使用してコールを開始し、[Cisco WebDialer - コールの開始] ページにアクセスします。
- [Cisco WebDialer - コールの開始] ページは、ダイヤルする番号を選択した後で WebDialer を初めて使用するときに表示されます。
- ステップ 2** [Cisco WebDialer - コールの開始] ページで、次のいずれかのオプションを選択します。
- 優先する言語 : WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。
 - 優先するデバイスを使用する : WebDialer コールを発信するために使用する Cisco Unified IP Phone (コールに使用するデバイス) とディレクトリ番号 (コールに使用する回線) を識別します。1 本の回線を持つ電話機を 1 台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。同じタイプの電話機が複数台ある場合は、デバイスタイプと MAC アドレスで指定します。
 - コールの確認ダイアログを表示しない : これを選択した場合、WebDialer を次回使用するとき WebDialer の [Cisco WebDialer - コールの開始] ページが表示されなくなります。Cisco ディレクトリの連絡先をクリックすると、コールが自動的にダイヤルされます。
 - 自動終了の無効化 : これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒後に自動的に閉じられなくなります。
-

WebDialer のログアウト

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

[Cisco WebDialer - コールの開始] または [Cisco WebDialer - 終了] ページで、[ログアウト]  を選択します。



第 4 章

ユーザ オプション

Cisco Unified IP Phone は、社内のパーソナル コンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用すると Cisco Unified CM のユーザ オプション Web ページにログインできます。そのページから、Cisco Unified IP Phone の機能、設定、サービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページからスピードダイヤル ボタンを設定できます。

- [ユーザ オプション Web ページのログインとログアウト, 31 ページ](#)
- [デバイスの設定, 32 ページ](#)
- [ユーザ設定, 35 ページ](#)
- [ユーザ オプション Web ページ プラグイン, 36 ページ](#)

ユーザ オプション Web ページのログインとログアウト

スピードダイヤルや個人アドレス帳などのユーザオプションを利用できるようにする前に、ログインする必要があります。また、ユーザオプション Web ページの使用が終了したら、ログアウトする必要があります。

ログインしなくても、ユーザオプション Web ページにアクセスできる場合があります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション URL、ユーザ ID、デフォルト パスワードをシステム管理者から取得します。
- ステップ 2** コンピュータで Web ブラウザを開き、その URL を入力します。
- ステップ 3** セキュリティ設定を許可するプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] を選択します。
- ステップ 4** [ユーザ名] フィールドに、ユーザ ID を入力します。
- ステップ 5** [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。
- ステップ 6** [ログイン] を選択します。
[Cisco Unified CM のユーザ オプション] ホーム ページが表示されます。このページから、[ユーザ オプション] を選択してデバイスを選択し、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファストダイヤルにアクセスできます。
- ステップ 7** ユーザ オプション Web ページからログアウトするには、[ログアウト] を選択します。
-

デバイスの設定

ユーザ オプション Web ページから、電話機のデバイス設定を変更できます。次のデバイス設定は、電話機で変更できます。

- 回線の設定
- スピードダイヤル

ユーザ オプション Web ページからのデバイスの選択

手順

-
- ステップ 1** ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
[デバイス設定] ウィンドウが表示されます。[デバイス設定] ウィンドウの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。
- ステップ 2** (任意) 複数のデバイスを割り当てられている場合は、[名前] ドロップダウンメニューから、適切なデバイス (電話機のモデル、エクステンションモビリティプロファイル、またはリモート接続先プロファイル) を選択します。
-

回線の設定

回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線の設定には、コール転送、メッセージ受信インジケータ、ボイスメッセージインジケータ、呼出音のパターンや、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機で他の回線の設定値を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送の設定
- 呼出音、その他の電話機モデル固有の設定の変更

回線ごとのコール転送の設定

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ5 [着信コールの転送] 領域で、各種条件のコール転送の設定を選択します。
- ステップ6 [保存] を選択します。

回線ごとのボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

手順

- ステップ1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
- ステップ2 [名前] ドロップダウンメニューから電話機を選択します。
- ステップ3 [回線の設定] を選択します。
- ステップ4 （任意） 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
- ステップ5 [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。
通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機でハンドセットのライトストリップの赤いランプが点灯することによって、新しいボイス メッセージがあることを示します。
- ステップ6 [保存] を選択します。

回線ごとのオーディオ ボイス メッセージ インジケータ 設定の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 2 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
 - ステップ 3 [回線の設定] を選択します。
 - ステップ 4 電話機に割り当てられている電話番号（回線）が複数ある場合は、[回線] ドロップダウンメニューから回線を選択します。
 - ステップ 5 [オーディオ メッセージ受信ランプ] 領域で、目的の設定を選択します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

スピードダイヤル ボタンとコード

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

電話機の設定に応じて、スピードダイヤル ボタンやスピードダイヤル コードを使用できます。これらの設定はユーザ オプション Web ページで行えます。

スピードダイヤル ボタンの設定

この手順は Cisco Unified IP Phone 6911 にのみ適用されます。

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページにログインします。
 - ステップ 2 [ユーザ オプション]>[デバイス] を選択します。
 - ステップ 3 [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。
 - ステップ 4 [スピードダイヤル] を選択します。
 - ステップ 5 [スピードダイヤル設定] 領域で、電話機のスピードダイヤル ボタンの番号とラベルを入力します。
 - ステップ 6 [保存] を選択します。
-

ユーザ設定

PIN とパスワードを使用して、さまざまな機能およびサービスにアクセスできます。ユーザ オプション Web ページやパーソナル コンピュータの Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ユーザ設定には、ブラウザのパスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

ブラウザのパスワードの変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 2 現在のパスワードを入力します。
 - ステップ 3 新しいパスワードを入力します。
 - ステップ 4 [パスワードの確認] フィールドに、新しいパスワードをもう一度入力します。
 - ステップ 5 [保存] を選択します。
-

PIN の変更

手順

-
- ステップ 1 ユーザ オプション Web ページで、[ユーザ オプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ 2 現在の PIN を入力します。
 - ステップ 3 新しい PIN を入力します。
 - ステップ 4 [PIN の確認] フィールドに、新しい PIN をもう一度入力します。
 - ステップ 5 [保存] を選択します。
-

ユーザオプションの言語の変更

手順

-
- ステップ1 ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[ユーザ設定] を選択します。
 - ステップ2 [ユーザロケール] 領域の [ロケール] ドロップダウンリストから、項目を選択します。
 - ステップ3 [保存] を選択します。
-

ユーザオプション Web ページ プラグイン

ユーザオプション Web ページのプラグインを使用すると、システム管理者が設定したアプリケーションをダウンロードしてそれにアクセスできます。

詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

プラグインへのアクセス

システム管理者がプラグインを設定した場合にのみ、プラグインが表示されます。

手順

ユーザオプション Web ページで、[ユーザオプション]>[プラグイン] を選択します。



第 5 章

よくある質問、トラブルシューティング

- [よくある質問, 37 ページ](#)
- [トラブルシューティングのヒント, 38 ページ](#)

よくある質問

- Q.** 保留ボタンを押してコールを保留にしましたが、もう一度保留ボタンを押してもコールが復帰しません。
- A.** 保留ボタンはコールを保留にするためだけに使用します。コールを復帰させるには、回線ボタンを押します。
- Q.** 機能ボタンを使用して特定の機能にアクセスする方法を教えてください。
- A.** 機能ボタンを押してから、アクセスする機能が割り当てられている番号を押す必要があります。この番号は、機能ボタンを押してから 5 秒以内に押す必要があります。
- Q.** 稼動していた電話が稼動（「復帰」）しなくなったのはなぜですか。
- A.** システム管理者が EnergyWise を使用して電話機を設定している場合は、電話機がスリープ状態（電源オフ）になることがあります。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した時間になると復帰します。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- Q.** 電話機で呼出音が 4 回続けて再生されますが、コールはありません。これは何を意味していますか。
- A.** 節電のために間もなく電話機が電源オフ（スリープ状態）になることを知らせています（EnergyWise 機能）。システム管理者は、電話機が特定の時間にスリープ状態になり、特定の時間に復帰する（電源オンになる）ように設定します。電話機は、システム管理者が設定した

時間になると復帰します。スリープ時間と復帰時間を変更する場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- Q.** メッセージインジケータで赤いランプが点滅している場合はどうすればよいですか。
- A.** 電話機のファームウェアによって内部エラーが検出されました。電話機のコードを電源コンセントから外し、1分待ってから再び接続します。メッセージインジケータで引き続き赤いランプが点滅している場合は、システム管理者にお問い合わせください。

トラブルシューティングのヒント

次のトピックに関連するトラブルシューティングのヒントを参照できます。

- 会議
- ユーザ オプション

会議

会議ボタンが反応しない

会議コールを設定したが、会議ボタンが反応しない。

考えられる原因

会議の参加者が最大数に達しています。

ソリューション

会議の参加者の1人に切断するよう求めるか、参加者を切断します。

ミーティング会議のビジー トーン

ミーティング会議にダイヤルした後でビジー トーンが聞こえます。

考えられる原因

会議のホストがまだ会議に参加していません。

ソリューション

再度発信します。

ユーザ オプション

ユーザ オプション Web ページにアクセスできない

ユーザ オプション Web ページにアクセスできません。

考えられる原因

パスワードをリセットする必要があります。

ソリューション

システム管理者にお問い合わせください。



第 6 章

製品の安全性、セキュリティ、アクセシビリティ、および追加情報

- 安全性とパフォーマンスの情報, 41 ページ
- シスコ製品のセキュリティ, 41 ページ
- アクセシビリティ機能, 42 ページ

安全性とパフォーマンスの情報

停電や他のデバイスが、Cisco Unified IP Phone に悪影響を及ぼすことがあります。

停電

電話機で緊急サービスを利用できるかどうかは、電話機に電源が供給されているかどうかによります。電源の供給が停止した場合、電源が回復するまで、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤルは機能しません。電源の異常や障害が発生した場合は、サービスおよび緊急コールサービスのダイヤル前に、装置をリセットまたは再設定する必要があります。

シスコ製品のセキュリティ

本製品は、暗号化機能を備えており、輸入、輸出、配布、および使用に適用される米国および他の国での法律の適用対象になっています。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html で参照できます。

アクセシビリティ機能

Cisco Unified IP Phone 6901 および 6911 には、視覚障がい、聴覚障がい、運動障がいを持つユーザーのためのアクセシビリティ機能があります。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/all_models/accessibility/english/user/guide/access_6901-11.html

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>



第 7 章

保証

- ・ シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定, 43 ページ

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスには、特別な条件が適用されます。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com の次の URL で提供しています。

http://www.cisco.com/en/US/docs/general/warranty/English/1Y1DEN__.html



索引

- C**
- Cisco Unified IP Phone 6901 [1, 3, 4](#)
 - 接続 [1](#)
 - フックスイッチ [3, 4](#)
 - フットスタンド [4](#)
 - ボタンとハードウェア [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6911 [5, 6, 8](#)
 - 接続 [5](#)
 - フットスタンド [8](#)
 - ボタンとハードウェア [6](#)
- F**
- FAQ [37](#)
- L**
- LED。参照先：[ランプ](#)
- M**
- MAC アドレス [29](#)
 - WebDialer [29](#)
- P**
- PIN [35](#)
 - 変更 [35](#)
- W**
- WebDialer [28, 29](#)
 - MAC アドレス [29](#)
 - WebDialer (続き)
 - ログイン [28](#)
 - WebDialer、説明 [28](#)
- あ**
- アクセシビリティ機能 [42](#)
 - アクセス [36](#)
 - プラグイン [36](#)
 - アラート [3, 6](#)
 - 安全性とパフォーマンス [41](#)
 - 停電 [41](#)
- え**
- エージェント グリーティング [16](#)
- お**
- オーディオメッセージインジケータ。参照先：[メッセージインジケータ](#)
 - オン/オフ [24](#)
 - ミュート [24](#)
 - 音量 [3, 6](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)
 - Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)
- か**
- 会議 [6, 20, 21, 22](#)
 - 説明 [20](#)
 - フックフラッシュを使用した参加者の切断 [21](#)
 - フックフラッシュを使用した設定 [20](#)

会議 (続き)

ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)ミーティング [22](#)回線 [3, 6, 33, 34](#)設定 [33, 34](#)ボイス メッセージ インジケータ [33, 34](#)ボタン、Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)ボタン、Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)カスタマイズ、ボイスメール [13](#)

き

キーパッド [3, 6](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)聞き取り、ボイス メッセージ [14](#)強制承認コード (FAC) 、説明 [19](#)共有回線 [25](#)説明 [25](#)

く

クライアント識別コード (CMC) 、説明 [19](#)グループ ピックアップ、説明 [18](#)

け

言語 [29, 36](#)WebDialer の設定 [29](#)ユーザ オプション Web ページの変更 [36](#)

こ

コール機能 [16, 18, 19, 20, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28](#)WebDialer [28](#)エージェント グリーティング [16](#)会議 [20](#)共有回線 [25](#)コード [19](#)コール待機 [19](#)コール ピックアップ [18](#)自動応答 [16](#)自動割り込み [16](#)

コール機能 (続き)

スピードダイヤル [26](#)すべてのコールの転送 [16](#)転送 [27](#)プラスダイヤル [25](#)保留 [22](#)ミーティング [22](#)ミュート [24](#)モニタリングと録音 [23](#)リダイヤル [25](#)コール待機、説明 [19](#)コール ピックアップ、説明 [18](#)個人識別番号。参照先：[PIN](#)コネクタ。参照先：[接続](#)

さ

サインインとサインアウト。参照先：[ログインとログアウト](#)

し

自動応答、説明 [16](#)自動割り込み、説明 [16](#)

す

スピーカフォン [6, 16](#)自動応答 [16](#)ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)スピードダイヤル [26, 34](#)説明 [26](#)ボタン [34](#)設定 [34](#)すべてのコールの転送 [16, 17](#)設定 [17](#)プライマリ回線 [17](#)説明 [16](#)

せ

接続 [1, 5](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [1](#)

接続 (続き)

Cisco Unified IP Phone 6911 [5](#)設定 [34](#)スピードダイヤルボタン [34](#)

そ

その他のピックアップ、説明 [18](#)

て

停電 [41](#)デバイスの設定 [32](#)転送 [6](#)関連項目：[すべてのコールの転送](#)ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)関連項目：[すべてのコールの転送](#)転送、説明 [27](#)

と

トラブルシューティングのヒント [38](#)

は

ハードウェア [3, 6](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)パスワード。参照先：[ブラウザのパスワード](#)番号のリダイヤル [25](#)ハンドセット [3, 6](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)ランプ [3](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)場所 [6](#)ランプ [6](#)

ふ

フックスイッチ [3](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)フックフラッシュ、会議の設定 [20](#)フットスタンド [4, 8](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [4](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [8](#)ブラウザのパスワード [35](#)変更 [35](#)プラグイン [36](#)プラスダイヤル、説明 [25](#)プログラマブル機能ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)

へ

変更 [35, 36](#)PIN [35](#)言語 [36](#)ユーザ オプション Web ページ [36](#)ブラウザのパスワード [35](#)ロケール [36](#)ユーザ オプション Web ページ [36](#)

ほ

ボイスメール。参照先：[メッセージ](#)ボイスメールの個人設定 [13](#)ボイスメッセージ。参照先：[メッセージ](#)ボイスメッセージの確認 [13](#)保証 [43](#)ボタン [3, 6](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)音量 [3](#)回線 [3](#)保留 [3](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)音量 [6](#)会議 [6](#)回線 [6](#)スピーカフォン [6](#)転送 [6](#)プログラマブル機能 [6](#)保留 [6](#)ミュート [6](#)メッセージ [6](#)保留 [3, 6, 22](#)説明 [22](#)ボタン [3, 6](#)Cisco Unified IP Phone 6901 [3](#)

保留 (続き)

ボタン (続き)

Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)

み

ミーティング [22, 23](#)会議 [23](#)参加 [23](#)説明 [22](#)ミュート [6, 24](#)オン/オフ [24](#)説明 [24](#)ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)

め

メッセージ [6, 13, 14](#)確認 [13](#)聞き取り [14](#)ボイスメールの個人設定 [13](#)ボタン [6](#)Cisco Unified IP Phone 6911 [6](#)メッセージインジケータ [13, 33, 34](#)オーディオ、変更 [34](#)ボイス、変更 [33](#)

も

モニタリングと録音、説明 [23](#)

ゆ

ユーザ オプション [31, 33, 34, 35, 36](#)デバイス [34](#)スピードダイヤル [34](#)

ユーザ オプション (続き)

デバイス、回線の設定 [33](#)プラグイン [36](#)ユーザ設定 [35, 36](#)PIN の変更 [35](#)ブラウザのパスワードの変更 [35](#)ユーザ オプション Web ページの言語の変更 [36](#)ログイン/ログアウト [31](#)

よ

よくある質問。参照先：[FAQ](#)

ら

ランプ [3](#)赤 [3](#)点灯 [3](#)点滅 [3](#)ハンドセット [3](#)緑 [3](#)点灯 [3](#)点滅 [3](#)

り

リダイヤル [25](#)説明 [25](#)

ろ

ログイン/ログアウト [28, 31](#)WebDialer [28](#)ユーザ オプション [31](#)ロケール [36](#)ユーザ オプション Web ページの変更 [36](#)